

議員と語ろうかい/  
こばカフェ 2023  
実施報告書



令和6年3月

小林市議会 広報広聴委員会

## 目 次

1. 開催概要	2
(1) 「こばカフェ」とは	
(2) ワールドカフェ方式とは	
(3) 開催日程・テーマ	
(4) 参加者の構成	
(5) スケジュール	
2. 各グループでの戦略・アイデア	4
3. 広報広聴委員会での振り返り	7
(1) 市民との対話によって気づいたこと・感じたこと	
(2) 議会内での議論・政策提言に活かしていくこと	
4. 参加者アンケート結果	7

## 1. 開催概要

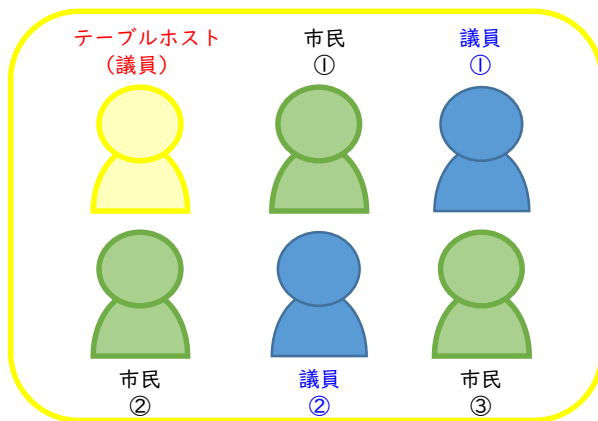
### (1) 「こぼカフェ」とは

「市民と議員が双方向で対話できる意見交換会」を目指し、市民の皆様からさまざまな意見をいただきながら、議会内での議論・政策提言に活かしていくため、議員からの一方的な議会報告という形ではなく、市民の皆様との「対話」をより重視したワールドカフェ方式による意見交換会です。

### (2) ワールドカフェ方式とは

「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つです。

#### 【ワールドカフェ方式の意見交換会のイメージ図（1テーブル6人のとき）】



× 6グループ

テーブルホストを除く、5人が約25分ごとに入れ替わる。

### (3) 開催日程・テーマ

開催場所：小林地区（KITTO 小林 2階 交流スペース）

開催日時：令和6年1月27日（土）18:30～20:30

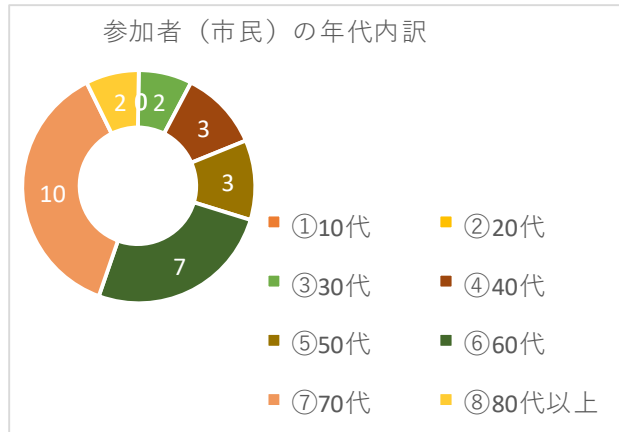
テーマ：「あなたの住みたいまち」

(4) 参加者

議員：18名

市民：28名 ※各まちづくり協議会を通じて参加者を募集。

年代	人数
①10代	0
②20代	0
③30代	2
④40代	3
⑤50代	3
⑥60代	7
⑦70代	10
⑧80代以上	2
合計	27



※参加者アンケート結果より。1名未回答。

(5) スケジュール

時間	所要時間	内容
18:00～18:30	30分	受付
18:30	—	開会
18:30～18:33	3分	開会あいさつ
18:33～18:38	5分	議員紹介
18:38～18:45	7分	本日のスケジュール及び「こばカフェ」について
18:45～19:10	25分	意見交換（テーブルワーク） 1回目
19:10～19:35	25分	意見交換（テーブルワーク） 2回目
19:35～19:40	5分	休憩
19:40～20:05	25分	意見交換（テーブルワーク） 3回目
20:05～20:30	20分	意見交換まとめ・各グループの発表
20:30	—	閉会

## 2. 各グループでの戦略・アイデア

今回は小林市の観光地を各グループの名称にして、7つのグループを作り、約25分ごとにメンバーの入れ替えを行いながら、意見交換を行いました。

各グループごとに設定されたサブテーマとまとめて出された戦略・アイデアは次のとおりです。

### グループ①：生駒高原

サブテーマ：「小林市がこうなったらいいなあ」意見交換と同時に政策提言への導き

#### 【戦略・アイデア】

・魅力あるまちにするためには、魅力ある人を作る。「ひとづくり」。そこには教育が必要である。まずは自分たち。親が疲弊して疲れた顔をしていたら、

そこに本当に住みたいと思いませんか？

・魅力があるまちであるという自信を持った発信が必要。そのためには、コンパクトシティ化を図り、市民を置いてけぼりにしない。情報の取りこぼしのないコミュニティの創出を図ることが、本当の住み

よいまちになるのでは。



### グループ②：出の山公園

サブテーマ：地域コミュニティの再創造

#### 【戦略・アイデア】

・若い人たちの声を取り入れ、発想を生かし、未来の小林を創造する。PTA、保護者に話を聞く、まちづくり協議会の様々なイベントの参加を促し、世代間の交流を図る。

・農業体験（農家民泊）で移住者をふやす。農業振興。



グループ③：三之宮峡

サブテーマ：10年後 20年後を

見据えた小林

【戦略・アイデア】

- ・中学生、高校生への交流会
- ・子育て世代との交流会
- ・担当課交えての交流会



グループ④：すきむらんど

サブテーマ：元気な子どもの声がきこえるまち

【戦略・アイデア】

- ・元気な高齢者から子や孫達が学ぶ、体験する機会を得る。
- ・高齢者ふれあいいきいきサロン等を通じて、グラウンドゴルフやペタンク、ボッチャなど、子ども達と一緒に体験できる環境作り。
- ・まちづくり協議会を通じて、組加入していない子ども達への地域行事の参加体験。また、種まきや収穫等、食育を含めた地域食の継承。
- ・親子会や子供会の復活や助成事業。地域コミュニティの取組強化で組加入促進。



グループ⑤：ままこ滝

サブテーマ：地域活性化

【戦略・アイデア】

- ・17億円の「ふるさと納税」の一部を地域の方へも（まちづくり協議会）。少額でも良いのでお願いします。
- ・市のアピールの強化（マスコミ含む）



## グループ⑥：のじりこぴあ

サブテーマ：今小林で暮らす、すべての人たちが安心できる、医療、福祉が充実したまち

### 【戦略・アイデア】

- ・高齢者にはサロンなどで楽しく元気になってもらう。子どもも交えて助け合いながら、コミュニティを築く。
- ・人口減少対策として、小林の魅力を全国に発信（空き家を利用して安く住居を得られること、大自然の中で暮らすことで、健康・長寿になれることなど）
- ・安心して暮らすために、医療の充実が必要（子どもから高齢者まで全ての住民にとって）
- ・稼げる仕事がなくとも福祉が充実していれば安心して暮らせる。高齢者、障がい者、子どもなどすべての人にやさしいまちにする。



## グループ⑦：ゆ～ぱるのじり

サブテーマ：伝統行事継承

### 【戦略・アイデア】

- ・基幹産業の衰退は人口減少に拍車をかけている。価格安定制度や高齢者生きがい作りを含め、再検討の必要性。
- ・人と人とのつながりの希薄化の影響はゴミ問題を始め、道路や水田の水路管理、集落の伝統行事に大きな支障をきたしている。以前は常会ごとは最優先の時代があった。地域集落が生き残れる術であった。再考の必要性、理解が求められる。
- ・少子化問題は、2子、3子出産期の高齢出産になること、子育てに金がかかることが問題であることと、未婚が多い。出会いの機会を失っていることにあるのではないのでしょうか。



### 3. 広報広聴委員会での振り返り

(1) 市民との対話によって気づいたこと・感じたこと

- ・若い世代（子育て世代）がもっと多く参加できるような方法を検討したい
- ・PTAや保護者会など、若い人が集まる場所に出向いていく方が良い  
→分野別意見交換会とのすみわけが必要
- ・参加者が関心を持てるテーマ、参加したいと思えるテーマにする
- ・参加者が参加して良かったと思えるような
- ・自分たちが意見交換会で言ったことが実現していけば、参加者も増えてくると思うので、そこまで行けると良い。
- ・リアルな悩みが出されていた。

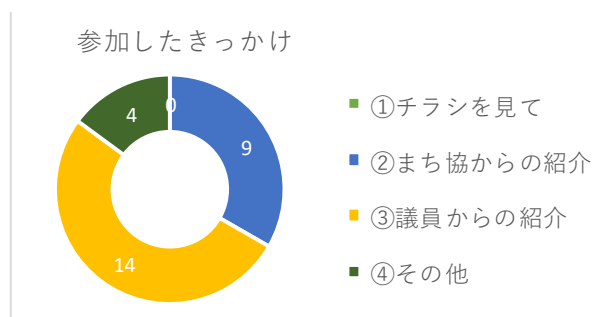
(2) 議会内での議論・政策提言に活かしていくこと

- ・各常任委員会と市民の意見を共有する。
- ・今回でてきた戦略・アイデアをもとに議会内での議論が必要。  
→戦略・アイデアを所管の委員会に振り分け、そのアイデア等をもとに今後どのように委員会審査や調査等を行っていくか協議を行うよう各委員会に依頼。
- ・市民へのフィードバック  
→報告書を各まちづくり協議会に送付し、ホームページやはなみずきにも掲載する。

### 4. 参加者アンケート結果

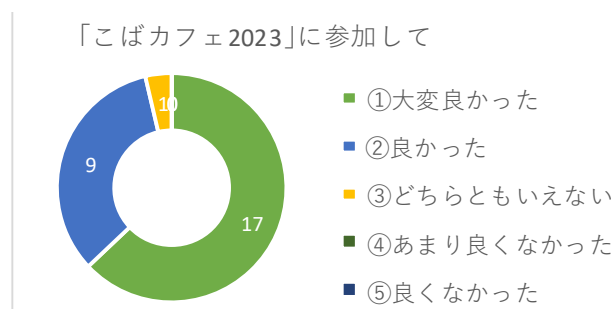
○「こばカフェ 2023」に参加したきっかけは

選択項目	人数
①チラシを見て	0
②まち協からの紹介	9
③議員からの紹介	14
④その他	4
合計	27



○「こばカフェ 2023」に参加して良かったですか

選択項目	回答数
①大変良かった	17
②良かった	9
③どちらともいえない	1
④あまり良くなかった	0
⑤良くなかった	0
合計	27





## ★回答の理由

### ①大変良かった

- ・対話型で良かった
- ・色々な人の意見を聞きました。住みよい町ができる事を望んでいます。
- ・初めての会合にしては大変良かったと思います。
- ・知らないような話も聞けて良かったです。
- ・皆さん熱心に将来のことを真剣に考えていらっしゃいました。それぞれ何らかの役員の方々ですので活発な意見が出ました。
- ・市議会議員の皆さまにお目にかかり、顔と意見が聞くことができました。参加者の思いが伝わり、情報交換ができました。
- ・年代問わず、色々な意見が聞けて楽しかったです。
- ・いろんな話を聞いた
- ・色々な人たちの意見が聞けて良かった。
- ・色々な方、頑張っておられる方のご意見を聞き、小林の未来への希望が少し見えました。
- ・議員の皆さまと話をすることができた。市民の声を議会へ
- ・議員の方、また非常に強力な発言をなさる市民の方とお話しできた。課題は大量にあるけれど、気づきがたくさんありました。
- ・いろんな人の見方、考え方、小林のこれからを考える一人になれるよう、微力となれるよう頑張りたい。
- ・いろんな意見を聞いた。
- ・若者の参加が多くなるといいですね。
- ・思っていることが皆同じ問題である。
- ・いろんな意見を聞いたが、作業にはしてほしくないです。どうなっていくかの具体的な内容まで話し合えたら良いと思います。

### ②良かった

- ・みなさん同じような考え、想いを持っていることがわかり、知恵や力を出し合えば、より良いまちになっていくだろうと思った。
- ・なかなか議員さんと話をする機会がないので良かったと思う。
- ・知らないことが現場の声として聞いたこと。
- ・いろんな方の意見が聞いたこと。市政に反映してほしいと思う。
- ・いろんな方の意見が聞けて良かった。他の人の意見を聞くことで、自分なりに色々考えるきっかけができて良かった。

### ③どちらともいえない

- ・結果というか、見届けが必要である。
- ・この2時間がどの様に活かされるのか、見届けたい。

### ○「こばカフェ」について、ご意見・ご感想

- ・このような会は、あらゆる年代の意見を聞いてほしいです。
- ・次回もよろしくお願いします。
- ・今後も回数を増やしてぜひ開催していただきたい。次回からジャンルを設けて討議した方が良くと思う。言いたいこと全般についての討議でしたので、まとまりに欠けたと感じました。
- ・初めての参加でドキドキしましたが、楽しかったです。ありがとうございました。
- ・はじめての参加でしたが、次回も自由に参加できるようにお願いします。
- ・このように意見を言う場を設けることは良いことだと思います。この意見を実現できるように議員の方に頑張ってもらいたい。
- ・市議の話し合いの提案に期待します。
- ・今後、多年齢交えての会があれば良いかな？
- ・一堂に会して大変良い勉強になりました。ありがとうございました。
- ・大変良かった。
- ・今後も続けてほしい
- ・意見出すだけでは意味ない。成果が必要です。投資も必要です。
- ・数多くの人の意見を聞く方向いいと思います。
- ・野尻から夜参加するのは少し大変だと感じた。
- ・今後もこういうイベントを設けてほしい。
- ・活発な意見交換が出来て良かった。高齢者と子供たちとの交流を増やしたり、イベントの開催、そして小林に暮らす全ての人が小林に住んでよかったと思えるまちになればと思います。今日はありがとうございました。
- ・日中にしてもらい、いろんな年齢の方々が参加できるようにしてもらい、市議会広報によって全市民に対してもらいたかったです。
- ・年に何回かやってほしいです。
- ・ワークショップは何回か経験があるが、その都度いろんな意見を聞き楽しい。問題が見えてくる。議員さんの努力が見えました。
- ・若い人たちの意見も聞いてみたいです。
- ・色々な世代の意見交流の場となる企画もぜひやってほしい。若い世代の意見も聞きたい。
- ・小中高校生（若い人たち）の参加が必要ではないか。

